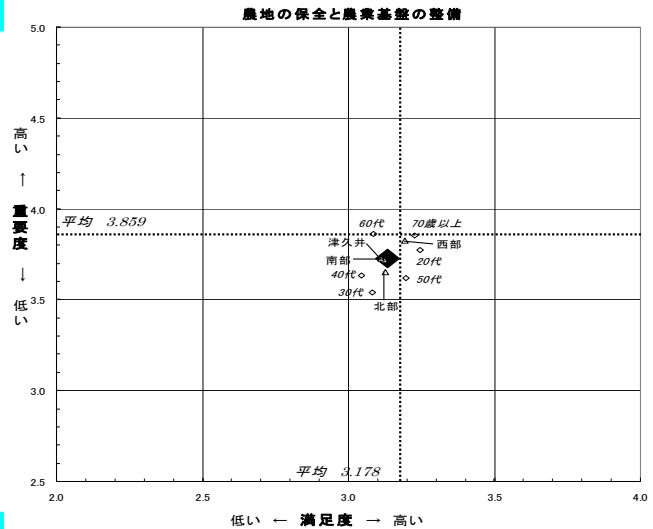


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.132で121施策の中で68番目。
 ○重要度は3.724で79番目である。
 ○改善要望度は-0.0628で74番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は20代で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、30代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、北部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 ② 1	
合計		5		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	農道等の農業生産基盤が、安定的に機能するよう計画的に整備・改修を行う必要がある。
解決策	整備計画を立て、効率的に整備・改修を行う。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

施策の目的を明確化・具体化する必要がある ⇒新しい総合計画に反映する。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

【評価コメント】 予算に対応した目標値設定であり、客観性を得られないため、評価を変更する。	3次評価
【指摘事項・意見】 ・施策目的から考え、農地が保全された状態を客観的に示せる指標「遊休農地率」を設定すること。 ・解決策は、農地を保全するための解決策を記入すること。	C

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
農林課	各種農業団体補助金	345	345	345	1.2	6	0.10	339	1,144
農林課	新戸地区基盤整備事業					1	1.00	55,286	63,336
農林課	農道等維持管理費 (相模川左岸土地改良負担金等)	25,008	23,487	24,108	1.2	県	0.50	11,430	15,455
農林課	農道等維持補修費	10,020	22,800	16,400	1.2	5	0.50	6,338	10,363
農林課	農道等整備事業 (中島3号用水路改修工事等)	58,422	46,728	55,348	1.2	3	1.00	47,652	55,702
農林課	農道等調査測量設計委託	0	2,000	2,000	1.2	4	0.40	4,116	7,336
農林課	望地地区地域用水環境整備事業					2	1.00	40,411	48,461
城山経済環境課	各種農業団体補助金	86	94	94	1.2				0
藤野経済環境課	一般事務費 (佐野川茶生産組合補助金)	0	1,400	0					0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		93,881	96,854	98,295			4.50	165,572	201,797